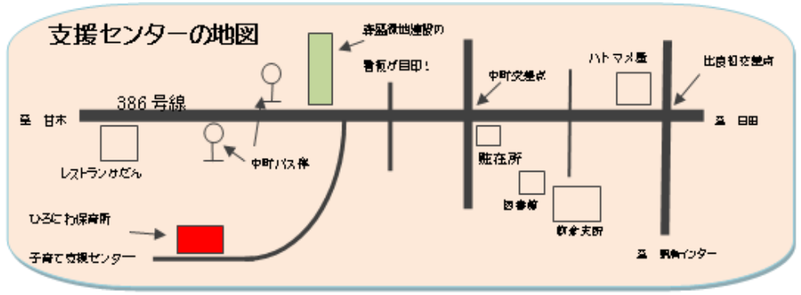
のびのび通信３月号

ひろにわ地域子育て支援センター

令和２年３月１日発行
開館　月～金曜日　　１０時～１５時
※祝祭日はお休みです
場所　朝倉市入地２６０７－１（ひろにわ保育所内）
電話　０８０－８３５２－４１７８（直通）
「ひろにわ子育て支援センター」で検索できます



暖冬だったので、春の便りも遅くなるかもしれませんが、桃や杏、木蓮など、優しい自然の色彩に目も癒されることでしょう。風も匂いや水のぬくもりなど、お子さんの感性を広げる自然が広がっています。気持ちのよい空気を吸いながら支援センターの園庭を散策しませんか？

～ のびのびカレンダー　３月 ～

コロナウイルス感染拡大防止の為、出張サロンに変更があります。

月	火	水	木	金	土
2 サロン	3 サロン	4 サロン	5 サロン	6 サロン	7 お休み
9 サロン	10 サロン	11 サロン	12 サロン	13 サロン	14 お休み
16 サロン	17 サロン	18 サロン	19 サロン	20 お休み	21 お休み
23 サロン	24 サロン のびのび in 杷木	25 サロン	26 サロン 誕生会	27 サロン	28 お休み
30 サロン 身体測定	31 サロン のびのび in 杷木				

保育所の卒園式ですが、サロンは開いてます。駐車場が混雑する可能性がありますので、十分お気をつけて下さい。

ひろにわ地域子育て支援センターのびのび（通称サロン）は月～金の１０時～１５時まで開いています。お好きな時間にお越しください。
ご利用は無料です。室内のおもちゃや園庭で親子いっしょに遊びましょう。
「木のおもちゃ」も用意していますのでたくさん触れて遊んでください。
ランチタイムは１２時～１３時です。
お昼ご飯をもってきてみんなで食べることもできます。

のびのび出張サロンとは？

支援センターのスタッフが各地域のコミュニティに伺い子育てサロンを開催しています。ご利用は無料です。
木のおもちゃなどで遊んでみませんか？マタニティさんや祖父母の方も大歓迎です。

杷　木・・・毎週火曜日	１０時～１５時	杷木らくゆう館　和室
立　石・・・毎月第２又は４水曜日	１０時～１１時３０分	立石コミュニティセンター
秋　月・・・偶数月の第４木曜日	１０時～１２時	秋月コミュニティセンター
上秋月・・・奇数月の第３水曜日	１０時～１２時	上秋月コミュニティセンター

開催日時の変更は通信にてお知らせいたします

◎　おしらせ　◎

予約・詳細は支援センターまでお願いします

◆3/12(金)【マスク作り】１０：３０～

ダブルガーゼを使って手作りマスク(子ども用１枚)を作ります。簡単に作れますので、材料がそれぞれ何枚も作れるようになると思いますよ。

場所：親子支援館ピッコロ
※人数把握のため予約をお願いします。
※ダブルガーゼをお持ちの方は持ってきてください。

◆3/19(木)【ミルク缶 de たいこ作り】１０：３０～

ミルク缶のリサイクル玩具の第２弾。叩くと優しい音がでます。

場所：上秋月コミュニティセンター
※人数把握のため予約をお願いします。

お読みください

感染拡大が危惧されている新型コロナウイルスに関して、今月も育児講座等を企画しておりますが、状況に応じて、講座等を中止せざるを得ない事もあるかもしれません。ご理解の程、よろしくお願い致します。
尚、サロンは通常通り開所致します。不特定多数の親子が利用されますので、おもちゃは毎回殺菌し、衛生管理も徹底しております。安心してご利用下さい。

～ご利用の際の注意事項～
1.できればマスクの着用をお願いします。
2.来所時の手洗い消毒にご協力ください。
3.体調の優れない時はご利用をお控え下さい。
4.育児相談等は電話、メールでもお受けしております。
℡ 080-8352-4178
✉ hironiwanobinobi@yahoo.co.jp

立石子育て広場からのお知らせ

3/11（水）に開催予定にしていた「立石子育て広場」は、新型コロナウイルスの感染予防として、今月は中止する事になりました。
来月は４月８日（水）の予定です。
＊内容は４月の通信にてお知らせします。

子育て中の「声」を聞かせて下さい

今年度も様々なイベントや講座を行いました。「音遊び」や「泥んこ」「木育ひろば」「足型アート」等は、以前から好評だったので今年度も続けましたが、「こういうものを皆で作りませんか？」と利用されたママの声で、「ちくちくソーイング」と題して、親子支援館ピッコロでお子さんの小物つくりを何度か行いました。裁縫が苦手な方も他の方に教わりながら、ワイワイ楽しそうに作業をされていましたよ。
支援センターのイベントや講座は、スタッフが企画することもありますが、利用に来られたママ達のニーズを受けて企画し、そのイベントの際に力を発揮してもらうなど主体的に動いてもらっています。子育ての主体は皆さんです。だから、どのような「子育て支援」を求めているのかを発信するもの皆さんです。子育て中の「声」を聞かせてください。